

14 本校のOJLの取り組みについて

OJL (On the Job Learning)

『互いに学び合える職場づくり』

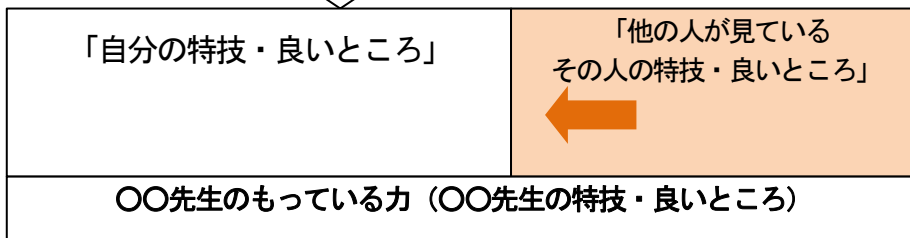
教員同士のつながりを深め、児童生徒について情報の共有や共通理解を図るためこのような計画で取り組みました。

「自分の特技・良いところ」

全員が用紙に記入し提出（6月）



係が全員分の一覧表作成



小グループで互いの良いところを褒め合うワークショップ実施（7月）



係が全員分の一覧表作成

自然発生的「学び合い」

- ・〇〇が得意な〇〇先生に聞いてみよう！
- ・〇〇先生に授業の「毎日の振り返り」の時間に来てもらおう！
- ・〇〇先生の授業を見たい！
- ・教材について教えて欲しい！
- ・〇〇について自分の知っていることを話してみよう！



など

場面設定した「学び合い」

- ・〇〇先生、□□先生を講師に実技講習会を実施する。
- ・振り返りの時間に、係から依頼して〇〇先生に来てもらう。
- ・〇〇先生の授業を参観し意見交換する企画など
- ・全員にどんな話や実技などを学びたいか？ どの話の話を聞きたいかなどアンケートをとる。

本校の資源（リソース）としてセンター的機能（校外）



自分のもっている力や互いの良いところを理解し
困ったら聞き合える、学び合えるような「職場の雰囲気」！！



さらに<本校の課題>
来年度から校舎が分かれる。
教師も分かれる。

- ・他学部の教師の顔と名前が一致する。
 - ・他校舎の教師との理解を深められる。
- 例えば・・教師全員の顔写真と名前、校務分掌、得意なことなどの一覧表を作成し、イントラネットなどで共有する方法が良いかどうか。

校舎が離れていても全職員が全児童生徒のことをよく理解している学校

校内研修より



本校の課題や実態に合ったOJLの取り組みの工夫と継続が必要